

令和7年度(2025年)
第34回全国女性建築士連絡協議会 (やまがた大会)

B分科会 古民家復権作戦



山形市にて、7月19日、20日の二日間にわたって開催されました。北海道から沖縄県までの女性建築士が集う大きな会で、開催地の山形県建築士会の方々は、何か月も前から準備に力を注いでおられました。阿部和建築文化研究所主幹研究員は、6つある分科会のうちB分科会のコメンテーターとして招聘されて、「古民家復権作戦」と銘打って発表しました。

全国の建築士にとって、古民家を暑くなく、寒くなく改修する手法は、興味がおありと見えて、広い会議室いっぱいになる50名余りの方々と、10数名のZOOM参加の方々が集ってくださいました。

全国からお集まりとのことで、白川郷の合掌造りを茅葺屋根のまま、高断熱高気密補強設計のうえ、村営宿泊施設とした事例をパワーポイントの写真と図面を駆使してお話ししました。

後半は、事前のご希望に答えて、登録文化財に登録するにはどんな注意事項が必要かを話すことになりました。私は、登録文化財制度が発足して3年ほどたった頃から(1996年発足)宮城県内の古民家を10数棟登録した実績があります。文化財保護法の解釈について阿部和建築文化研究所の初代所長であり、元文化庁文化財保護部建造物課長工学博士宮澤智士先生の文章を挙げて説明しました。

B分科会 古民家復権作戦

**白川村合掌造り迎賓館
「好々庵」**

村営の合掌造り宿泊施設に
高断熱高気密構造補強を試みた

2025年7月20日
安井妙子ととりえ主宰
阿部和建築文化研究所主幹研究員
安井妙子

白川郷合掌造り迎賓館